



継続のChikara

九州・沖縄ブロックでの つながる取り組み

九州キャンプミーティングの取り組み



<九州・沖縄ブロックキャンプ協会>

鹿児島県キャンプ協会	川畑 和也
福岡県キャンプ協会	築山 泰典
佐賀県キャンプ協会	吉松 誠一郎



継続のChikara

九州・沖縄ブロックでのつながる取り組み

【発表の要旨】

2つの事例からなる報告を予定している。1つは2011年から継続している九州キャンプミーティングについて、もう一つは佐賀県キャンプ協会が実施している地域活性化事業についてとなる。両事業とも目的や手法は異なるものの、「つながる・つなげること」を大切に継続して来たからこそ見えてきたことがある。そんな共通点を大切にしながら、事業を継続することの力を伝えていきたいと考える。

九州キャンプミーティングとは

2011年から行われる、九州ブロックキャンプ協会の集会

九州のキャンプや野外教育の仲間が集まって、様々な実践事例や研究事例などを発表し合ったり、テーマについて話し合ったりするミーティング

九州地区における、キャンプ指導者の**交流・研修の場**

基調講演、実践・研究発表

シンポジウム、交流会、ワークショップなど

九州キャンプミーティングとは

2010年1月

宮崎県にて開催されたD2講習会にて**若手のD1指導者**が集まり、九州ブロック内での**連携を進める**ために、**九州キャンプミーティング**の開催のアイデアが持ち上がる

2010年3月

東京での事務局担当者会にて、実施原案が提出され、方向性や趣旨について全員の了解を得る

→会議開催による負担を考え**築山泰典先生(福岡大学)**を中心に開催準備

つながる

九州キャンプミーティングとは

2011年2月

第1回目の九州キャンプミーティングが**熊本県**にて開催

2015年2月

第5回目の開催（阿蘇開催）を持って、終了・・・！？

懇親会にて鹿児島県事務局**福島康彦さん**

「**次年度は鹿児島で！**」

2021年2月

第11回目の九州キャンプミーティングがオンラインにて開催



つなげる

継続する

九州キャンプミーティングの目的

九州地区における、

キャンプ指導者の**交流・成長の場**を目指す

若手指導者・研究者の**育成の場**とする

安定した**研修の場（BUC）の提供**を目的とする

野外教育学会会員の組織化を目指す

- ブロック会議（九州キャンプ大会）
- D1受験のプレゼンの機会
- 野外を学ぶ学生の交流の場
- 野外教育学会



九州キャンプミーティング2021

日時・場所

令和2年2月28日(土) ZOOMによるオンライン

内容

基調講演 実践・研究発表 懇親会

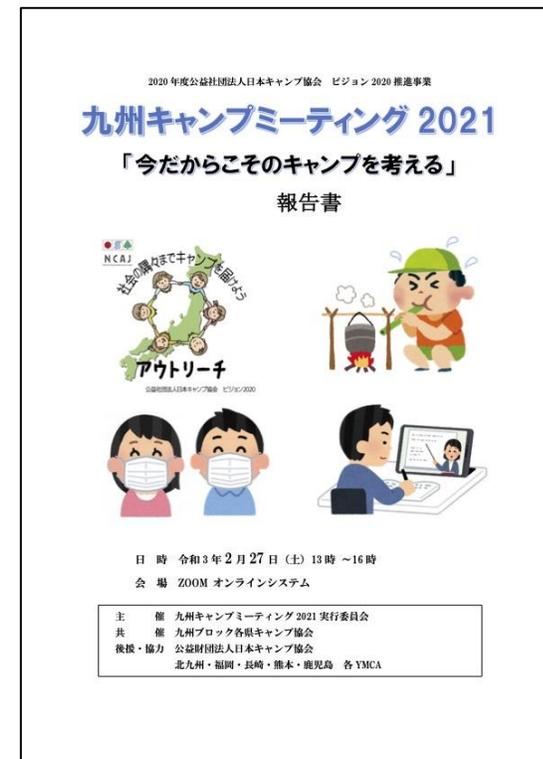
『今だからこそそのキャンプを考える』

基調講演

「コロナ禍に改めて問うキャンプの価値」

社会福祉法人熊本 YMCA 福社会

尾ヶ石保育園園長 久保誠 治氏



活動の様子

継続のChikara
九州・沖縄ブロックでの
つながる取り組み
第25回日本キャンプミーティング

ワークショップの様子



研究発表の様子



基調講演の様子

開催年	開催場所	タイトル	参加者数	発表演題数
2011(第1回)	熊本	これからの日本のキャンプを語る！	64	6
2012(第2回)	熊本	九州のキャンプ、その独自性を探る！	29	5
2013(第3回)	熊本阿蘇	阿蘇・くじゅうから、九州のキャンプを語る！	18	3
2014(第4回)	福岡	公的施設がキャンプを実施する意味	28	3
2015(第5回)	熊本阿蘇	キャンプの現在・過去・未来！	39	9
2016(第6回)	鹿児島	森を感じる！森から学ぼう！	39	6
2017(第7回)	宮崎	自然体験の風をおこそう ~キャンプは生きる力を育む~	28	6
2018(第8回)	長崎	長崎からキャンプを考える -和華蘭文化が目指すところ-	39	9
2019(第9回)	福岡北九州	新たなキャンプの価値を考える！ -求める子どもたちへ届けるために-	29	5
2020(第10回)	熊本	故(ふる)きを温(たず)ねて新しきを知る	30	5
2021(第11回)	オンライン	今だからこそそのキャンプを考える	19	6

継続のChikaraとつながり

<ビジョン2020> 社会の隅々までキャンプを届けよう

- ① キャンプの案内人（ガイド）を務める
- ② 「つながる力」「たのしむ力」「たちむかう力」を実感できるキャンプの展開
- ③ キャンプの発展のための「意識改革」

活動を振り返ると・・・ビジョン2020→2025

九州キャンプミーティング・九州キャンプ大会

基調講演・シンポジウム・ワークショップ（①/③知識・技術の伝承）

事例・研究発表・交流会（②地域間発信、多世代・次世代応援）

各県キャンプ協会の周年事業（②/③社会的課題対応）

ビジョン2025に向けて、ビジョンを意識する、達成するための視点を取り入れ、共有していく必要



今後に向けて

九州地区における、

キャンプ指導者の**交流・成長の場**を目指す
若手指導者・研究者の**育成の場**とする
安定した**研修の場の提供**をする

「九州はひとつ」

九州におけるキャンプの**発展・継続**…
これまでの「**つながり**」を「**広がり**」に
アウトリーチ（社会の隅々まで届ける）

「私達、キャンプ関係者にできることは、何なのか、を考える機会」